

令和3年10月4日

緑小だより

横浜市立緑小学校

10月号

ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

mail y3midori@edu.city.yokohama.jp

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

学びが止まらないように!!

学校長 能城 順一

1ヶ月の分散登校期間を経て、全校児童が「共に登校する日」がやってきました。保護者の皆様には、分散登校期間中は、家庭学習やオンライン学習の面で、多大なご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。私たち教職員にとっては、この分散登校期間中は、端末と格闘した期間でもありました。特に分散登校が延長となった9月14日からは、対面で学ぶ子どもたちと家庭で学ぶ子どもたちが「共に学べる環境」となっているのか、試行錯誤する日々が続きました。9月17日付けの文書でお知らせした通り、この期間のオンライン学習を試行して、今後、臨時休業や学年学級閉鎖となった際には、オンライン学習を導入していくことができるとの目途は立ちましたが、まだまだ課題が山積しています。多くの課題に関しては、保護者の皆様のご協力なくして、課題の解消という目標に到達できることはないと考えています。特に「情報モラル」に関しては、学校と家庭で連携して育てこそ身に付いていくものですので、この点に関しては、保護者の皆様には特に高い意識でお子さんにご指導いただけることを是非ともお願いしたいです。

本来、10月は「実りの秋」と言われる通り、気候的にも最も教育活動を活性化できる時期であります。しかしながら、緊急事態宣言が解除され、10月を迎えても、新型コロナウイルス感染症の感染の状況は、早くも第6波の到来が強く懸念されています。今回の学校再開においても、多くの子どもたちが不安を抱えたまま登校してくるでしょうし、お子さんを送り出す保護者の皆様の不安も大きいものと推察します。それは私たち教職員も同じです。例えば、私は7月末に2回目のワクチン接種を終えましたが、それによって新型コロナウイルス感染症への不安が解消するようなことは全くありません。引き続き「できる感染症対策」を続けていく他ないと思うばかりなのです。私たち教職員も、大きな不安の中での教育活動なのです。

文部科学省は「学びを止めないように」とよく言いますが、教職員だけで「学びを止めないようにする」ことは不可能と、私は考えています。保護者の皆様との連携を密にして、そしてお力添えをいただいてこそ「学びが止まらないようになる」のです。先述の「情報モラル」にしてもそうですし、日々の「健康観察の徹底」に関してもそうです。保護者の皆様、どうかこの危機的な状況の中「学びが止まらないよう」引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

今後の校外学習の予定

| | 行き先 | 予定日【延期日など】 |
|----|----------------|-----------------------|
| 1年 | 長坂谷公園遠足 | 10月29日(金) 【11月11日(木)】 |
| 2年 | ズーラシア遠足 | 11月29日(月) 【雨天決行】 |
| 3年 | こどもの国遠足 | 11月 5日(金) 【11月16日(火)】 |
| 4年 | 新江ノ島水族館遠足 | 11月19日(金) 【雨天決行】 |
| 5年 | 金沢動物園・金沢自然公園遠足 | 11月 ~ 12月 |
| 6年 | 箱根修学旅行 | 11月24日(水)・25日(木) 【3月】 |